

西日本総合コンサルタント株式会社 令和4年・仕事始め式

(代表取締役 福島裕充社長 年頭の挨拶 令和4年1月4日)

新年あけましておめでとうございます。

年末年始の6日間の休暇、どうだったでしょうか？ コロナ禍であり、ご家族でゆっくりとお正月を過ごされたことだと思います。おかげを持ちまして、休暇中には事故の連絡もなく、皆さんがこうしてそろって仕事始め式に参加してもらったことが一番良かったと思います。

年末に申しました通り今日から会社では新しい年の始まりですので、心機一転、各自が今年の目標をもって取り組んで頂きたいと思います。

今年の会社目標については、今年度目標額の達成を手はじめに、コロナ禍で、昨年できなかった社員旅行を是非とも実行したいと考えております。6月中旬に2泊3日で信州の松本から立山・黒部・金沢を回る計画を立ててもらうよう手配をしました。新型コロナの状況にもよりますが、今年こそは実行できるのではと思っています。黒部ダム建設にかかわる過酷な工事の事や、壮大な立山の自然など我々コンサルタントにとっても興味深い体験ができるものと確信しております。また、6月の立山は雪の回廊が残っていると思いますし、普通では体験できない事にも触れる機会であると思います。どうか楽しみにしておいてください。



もう一つ、会社では働き方改革として建設業や建設関連業の課題の一つであります昔の3K（きつい、きたない、きけん）に代わる、新3K（給与、休暇、希望）に対する取り組みへの強化を図りたいと考えています。

まず、給与に関しては、所得拡大推進税制が令和3年に改正され、賃上げなどによる所得拡大に対し一定の要件を満たした企業に対して税額控除が適用されるという制度が2年延長されましたので、今年度だけでなく数年かけた給与アップの取り組みも考慮に入れて対応していきたいと考えています。

次に、休暇につきましては現在、第3土曜日出勤日としています。完全週休二日制にすることは難しいことではありませんが、社員の資格取得、資質向上、スキルアップを図るために設定している第3土曜日出勤を休みにすると、果たして社員がちゃんと自己学習するだろうかという方面から考えると非常に迷ってしまっていて、いまの段階ではもう少し様子見がいいのではないかと考えています。今後、社員等の考え方も聞いて検討していこうと思っています。

3つ目の希望については、更に難しい内容で社員各自がどんな希望を持っているのか調査して「やりがい」と「誇り」がもてる社風づくりが重要ではないかと考えていますが、具体的にどのようなことに取り組めばいいのか今のところ手探り状態です。

どの項目も短時間でできる事ではありませんので、社員の皆さんとの意見交換や他社の状況等も考慮に入れて徐々に良くしていこうと決意しているところです。



さて、昨年創立50周年が過ぎ、いよいよ今年は新たな50年に向けた初年度が始まります。私自身は、昨年9月に県土づくりコンサルタンツ協会会長へ就任しましたが、おそらくあと一期2年勤める事になるかと思います。当社のみならず協会全体の事を考えて活動していく必要があるため、皆さんには何かと不便を来たすことが増えるかもしれませんが、役員、社員が協力し合って社業発展に努めていきたと思っています。

結びになりますが、我々の建設関連業にとってインフラのDX（デジタルフォーメーション）が本格的に取り組まれることになりました。国交省では令和5年から設計業務に関しても3次元化を小構造物の一部を除いて開始するとされて

います。われわれにとって対岸の火事では済まなくなってきました。測量分野は既に 3 次元業務が浸透してきましたが、設計分野についても業務に関わる技術者は 3 次元化の知識習得が必要です。他社に負けないように自らが向上心を持って取り組んで頂くようお願い致します。

寒さはこれからが本番です。風邪などで体調を壊さないよう留意されて全員で年度末に向け、頑張ることを祈念して年頭の挨拶に変えます。



令和 4 年 仕事始め柏(かしわ)打ち三本締め(音頭:平川常務)



国土交通省武雄河川事務所長表彰

令和 3 年 8 月豪雨・支援活動功労感謝状伝達 (受賞者:測量グループ西村部長)



社員成人祝い金授与(山口凛丸 PL、大熊望結 PL) おめでとうございます！！



令和4年 仕事始め式 新春記念写真 （於:当社:玄関前 R4.1.4）